

平成18年度プラスチック化学リサイクル研究会「技術功績賞」の受賞について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、本8月28日、容器包装プラスチック油化事業者協議会と共同で研究している「製油所での廃プラスチック熱分解油のアップグレード」に関する技術開発の功績が認められ、プラスチック化学リサイクル研究会「技術功績賞」を受賞いたしました。
2. プラスチック化学リサイクル研究会とは、プラスチックの化学リサイクルに関する研究を学術的かつ学際的な立場から推進し、既存技術の発展および新規技術の開発等の水準を向上させ、リサイクル社会の構築に貢献することを目的として1998年に設立された研究会です。
3. 同研究会では、プラスチック化学リサイクルに関する研究の発展を促進するため、功労賞、功績賞、進歩賞および発表賞からなる表彰制度を設けております。功績賞には、研究功績賞と技術功績賞があり、今回受賞した「技術功績賞」は、プラスチック化学リサイクルに関する優秀な技術の進歩発達に顕著な実績をあげた者に対して授与されるものです。
4. 当社は、2002年から、廃プラスチック熱分解油を石油精製設備の活用により石油製品へ再生するための処理技術等に関する研究を開始し、その技術を用いて、2004年4月から当社水島製油所(岡山県倉敷市)において、商業装置による日本で初めての実証化運転を行っております。
5. 今回の受賞は、上記の廃プラスチック熱分解油を製油所で処理する技術の開発および実用化に向けた取組みが高く評価されたものです。
6. なお、授与式は、山梨県環境科学研究所(山梨県富士吉田市)において行われました。

以上